

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	5-1-2		事業名	地域に開かれた学校づくりの推進	
担当	教育委員会学校教育部指導担当課 黒澤敏行 211-3861				
全体計画（当初）					
事業内容	学校研究モデル校事業 「平成16年度学校教育の重点」等にかかわる学校教育推進上の諸課題についての研究を札幌市立幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び養護学校に委託し、その成果を普及・啓発することにより、本市の学校教育の充実・向上に資する。 学校研究モデル校・・・4分野6課題 学校研究委託校・・・12分野17課題 地域人材の活用推進 地域のネットワークづくりを推進し、地域の教育力を積極的に活用した教育活動を支援する一施策として、学習活動支援者に傷害保険の措置を、また運動部活動の外部指導者に対して、活動中の事故等に対する傷害保険の措置を講じる。各学校の「総合的な学習の時間」の取組が、より地域に開かれた、充実したものとなるよう、外部講師等の交通費など、教育活動に必要な諸経費の一部を補助する。		＜年度別の事業内容＞		
			平成16年度	学校研究モデル校(3年研究)	14校
			学校研究委託校(1年研究校)	32校	
		平成17年度	学校研究モデル校(3年研究校)	19校	
			学校研究委託校(1年研究校)	22校	
		平成18年度	学校研究モデル校(3年研究校)	23校	
			学校研究委託校(1年研究校)	20校	
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）		
	学校研究モデル校事業 ・9月に学校研究モデル校による研究内容を知らせるリーフレットを作成し全市立学校及び幼稚園に配布 ・2月学校研究委託校の研究内容をまとめた冊子を作成し、全市立学校及び幼稚園に配布 ・2月学校研究委託校による発表会を開催 地域人材の活用推進 ・総合的な学習の時間に環境、福祉、国際理解等をテーマに授業展開する際、地域の方をゲストティーチャーとして招き、授業にかかわってもらうことで、子どもたちの興味・関心を高め、課題解決の動機付けを図るようにした。		学校研究モデル校事業 ・学校研究モデル校を5校追加し合計19校で取り組んだ。 2月に学校研究モデル校による学習会を開催 ・学校研究委託校は、22校で実施した。 2月に学校研究委託校による発表会を開催 地域人材の活用推進 ・総合的な学習の時間に環境、福祉、国際理解等をテーマに授業展開する際、地域の方をゲストティーチャーとして招き、授業にかかわってもらうことで、子どもたちの興味・関心を高め、課題解決の動機付けを図るようにした。		
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）		
	学校研究委託事業（これまでの学校研究モデル校事業の内容を改編） ・研究モデル校（3年研究）を4校追加し合計23校で取り組んだ。 2月に研究モデル校による学習会を開催 ・研究校（1年研究）は20校で実施した。 2月に研究校による発表会を開催 地域人材の活用推進 ・総合的な学習の時間に環境、福祉、国際理解等をテーマに授業展開する際、地域の方をゲストティーチャーとして招き、授業にかかわってもらうことで、子どもたちの興味・関心を高め、課題解決の動機付けを図るようにした。		研究委託をとおして、「札幌市学校教育の重点」や「札幌市教育推進計画」等の学校教育推進上の諸課題について、様々な実践的研究に各学校が取り組み、本市の学校教育の充実と発展に寄与している。 地域人材の活用により、子どもたちの興味・関心を高める授業展開がなされている。		
		課題			
		研究委託における成果の普及を進めること。 地域人材の集約と提供のシステム作りを図ること。			
19年度以降の方向性・事業の予定					
これまでの成果と課題を踏まえ、今後も事業を継続して実施していく。 ・教育の今日的課題を踏まえた研究課題の在り方や委託期間等の検討によって、より充実した取組となるよう努める。 ・地域人材の集約と提供のシステム作りに関する調査研究について検討する。					

